



平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月30日

上場会社名 内外トランスライン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9384 URL <http://www.ntl-naigai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 常多 晃
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 三根 英樹 (TEL) 06-6260-4800
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 平成30年9月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	11,350	7.9	734	2.2	721	△3.6	482	△21.8
29年12月期第2四半期	10,523	5.1	718	24.4	748	46.9	617	75.1

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 259百万円(△57.3%) 29年12月期第2四半期 608百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	49.76	—
29年12月期第2四半期	63.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	10,313	8,087	73.9
29年12月期	10,107	7,974	74.2

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 7,617百万円 29年12月期 7,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	15.00	—	17.00	32.00
30年12月期	—	16.00			
30年12月期(予想)			—	16.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	5.9	1,700	13.3	1,750	10.2	1,300	9.0	134.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期2Q	10,698,000株	29年12月期	10,698,000株
② 期末自己株式数	30年12月期2Q	991,219株	29年12月期	1,001,019株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期2Q	9,699,781株	29年12月期2Q	9,697,012株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、当社は平成30年8月3日に決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料につきましては、速やかに当社ウェブサイトに記載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成30年1月1日～平成30年6月30日）におけるわが国経済は、製造業をはじめとする企業の景況感が原油等原材料価格の上昇によりやや悪化したものの、依然、企業収益は堅調に推移しており、景気は回復基調にあるものと判断しております。反面、世界経済における懸念材料として、トランプ政権の通商保護主義により貿易摩擦が激化し、世界貿易が縮小するリスクを抱えており、この事態はこれからの日本経済にとってはもちろん、活発な通商活動に依存する当社業績にとっても不透明かつ大きな不安要素となっております。

一方、足下のわが国の貿易については、やや一服感が出てきたとはいえ、輸出、輸入とも引き続き対前年比で増加傾向にあり、特に中国、アジア諸国向けの輸出及び輸入については好調を持続しております。

このような状況の下、当社グループの実績につきましては、単体では、主軸の輸出混載輸送の取扱量が対前年同期に対し増加を示しましたが、運賃、作業料等の原価高騰の売価への転嫁が思うように進まず利益面では苦戦を強いられました。また、年前半の円高による為替差損や前年同期に計上した有価証券売却益等の特殊要因も経常利益及び親会社に帰属する四半期純利益の押下げ要因となりました。なお、国内子会社及び海外子会社においては、一部を除きおおむね増収増益を達成しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は11,350百万円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益は734百万円（同2.2%増）、経常利益は721百万円（同3.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は482百万円（同21.8%減）と、売上高、営業利益において前年同四半期実績を上回りましたが、経常利益、親会社に帰属する四半期純利益において対前年同四半期比減益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 日本

日本における国際貨物輸送事業につきましては、混載貨物輸出を主力としております。当第2四半期連結累計期間における売上高は、単体の輸出売上が混載輸送及びフルコンテナ輸送においていずれも増加し、また、国内子会社の株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパンも、主力の航空輸送及び通関売上の増加が寄与し前年同四半期を大幅に上回る増収増益となりました。

この結果、売上高は、7,603百万円と前年同四半期と比べ571百万円（8.1%増）の増収となり、セグメント利益（営業利益）も458百万円と前年同四半期と比べ34百万円増加（8.1%増）となり、増収増益となりました。

② 海外

当社グループはアジア地域及び米国に連結子会社10社を有しており、これらの子会社の売上は日本からの貨物の取扱が中心となります。当第2四半期連結累計期間における海外売上高は、各社とも比較的好調に推移し増収となりましたが、セグメント利益（営業利益）においては売上原価の上昇等により減益となりました。

この結果、売上高は、3,746百万円と前年同四半期と比べ255百万円（7.3%増）の増収となりましたが、セグメント利益（営業利益）は289百万円と前年同四半期と比べ18百万円減少（6.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は10,313百万円（前連結会計年度末比205百万円増加）となりました。増加の主な理由は、現金及び預金の増加347百万円、売掛金の減少96百万円、海外資産の為替変動に伴う建物及び構築物の減少122百万円等によるものであります。

負債は2,226百万円（同92百万円増加）となりました。増加の主な理由は、買掛金の増加34百万円、未払法人税等の増加15百万円及び賞与引当金の増加19百万円等によるものであります。

また、純資産は8,087百万円（同112百万円増加）となりました。増加の主な理由は、利益剰余金の増加317百万円及び為替換算調整勘定の減少201百万円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前第2四半期連結会計期間末に比べ347百万円増加し、5,449百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は885百万円（前年同四半期は710百万円の収入）となりました。主な資金の増加は税金等調整前四半期純利益の計上719百万円等、主な資金の減少は法人税等の支払192百万円等であります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、236百万円（前年同四半期は80百万円の収入）となりました。主な資金の減少はインド現地法人の倉庫増設に伴う有形固定資産の取得による支出168百万円等であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、164百万円（前年同四半期は154百万円の支出）となりました。資金の減少は配当金の支払額164百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度（平成30年12月期）の業績につきましては、平成30年2月9日に公表いたしました通期の業績予想を変更しておりません。

今後の見通しにつきましては、業績予想に関し、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,101,213	5,449,181
売掛金	1,577,852	1,481,408
その他	614,732	552,848
貸倒引当金	△9,767	△4,762
流動資産合計	7,284,031	7,478,675
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,444,301	1,321,463
その他(純額)	544,450	671,376
有形固定資産合計	1,988,751	1,992,839
無形固定資産		
のれん	117,386	101,518
その他	48,507	51,417
無形固定資産合計	165,894	152,936
投資その他の資産		
その他	976,710	988,229
貸倒引当金	△307,466	△298,850
投資その他の資産合計	669,244	689,379
固定資産合計	2,823,889	2,835,155
資産合計	10,107,921	10,313,831

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,058,640	1,093,391
未払法人税等	223,288	238,736
賞与引当金	12,469	32,342
その他	401,289	422,959
流動負債合計	1,695,686	1,787,430
固定負債		
退職給付に係る負債	283,413	286,824
その他	154,470	152,259
固定負債合計	437,883	439,084
負債合計	2,133,570	2,226,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	243,937	243,937
資本剰余金	233,937	241,997
利益剰余金	7,720,434	8,038,233
自己株式	△1,020,578	△1,010,586
株主資本合計	7,177,730	7,513,581
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,058	18,052
為替換算調整勘定	291,805	90,107
退職給付に係る調整累計額	△3,954	△3,865
その他の包括利益累計額合計	319,908	104,294
非支配株主持分	476,711	469,440
純資産合計	7,974,350	8,087,316
負債純資産合計	10,107,921	10,313,831

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	10,523,498	11,350,159
売上原価	7,571,595	8,304,440
売上総利益	2,951,903	3,045,719
販売費及び一般管理費	2,232,976	2,311,004
営業利益	718,927	734,714
営業外収益		
受取利息	9,973	19,092
為替差益	4,594	—
不動産賃貸料	14,423	15,392
その他	9,080	7,825
営業外収益合計	38,071	42,310
営業外費用		
支払利息	1,251	—
不動産賃貸費用	2,397	2,393
為替差損	—	44,518
支払手数料	4,613	8,605
その他	178	242
営業外費用合計	8,441	55,759
経常利益	748,557	721,265
特別利益		
固定資産売却益	176	85
投資有価証券売却益	102,259	—
特別利益合計	102,435	85
特別損失		
固定資産除売却損	160	30
施設利用会員権売却損	—	485
施設利用会員権評価損	—	926
特別損失合計	160	1,441
税金等調整前四半期純利益	850,833	719,909
法人税、住民税及び事業税	204,478	215,465
法人税等調整額	16,723	△1,083
法人税等合計	221,201	214,382
四半期純利益	629,632	505,526
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,588	22,878
親会社株主に帰属する四半期純利益	617,043	482,648

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	629,632	505,526
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,812	△14,005
為替換算調整勘定	△23,344	△231,846
退職給付に係る調整額	106	89
その他の包括利益合計	△21,425	△245,763
四半期包括利益	608,206	259,763
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	591,048	267,034
非支配株主に係る四半期包括利益	17,158	△7,270

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	850,833	719,909
減価償却費	60,203	61,608
のれん償却額	15,132	15,742
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,886	20,598
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	17,554	8,254
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16,045	16,645
受取利息及び受取配当金	△12,182	△21,142
支払利息	1,251	—
為替差損益(△は益)	9,641	49,042
固定資産除売却損益(△は益)	△15	△55
投資有価証券売却損益(△は益)	△102,259	—
施設利用会員権評価損	—	926
施設利用会員権売却損	—	485
売上債権の増減額(△は増加)	52,242	48,459
たな卸資産の増減額(△は増加)	△121	593
仕入債務の増減額(△は減少)	79,618	56,483
未払費用の増減額(△は減少)	△28,220	△2,880
長期未収入金の増減額(△は増加)	—	△21,236
その他の資産の増減額(△は増加)	△39,516	77,376
その他の負債の増減額(△は減少)	20,283	26,192
小計	921,289	1,057,004
利息及び配当金の受取額	12,182	21,142
利息の支払額	△1,251	—
法人税等の支払額	△222,044	△192,903
営業活動によるキャッシュ・フロー	710,175	885,244
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,657	△168,303
有形固定資産の売却による収入	617	1,899
無形固定資産の取得による支出	△2,866	△16,209
投資有価証券の売却による収入	102,857	—
非連結子会社株式の取得による支出	—	△10,877
貸付金の回収による収入	90	—
その他	△1,643	△42,510
投資活動によるキャッシュ・フロー	80,396	△236,000
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△9,405	—
配当金の支払額	△145,405	△164,873
財務活動によるキャッシュ・フロー	△154,810	△164,873
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31,194	△136,403
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	604,567	347,967
現金及び現金同等物の期首残高	4,496,637	5,101,213
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,101,204	5,449,181

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,032,292	3,491,206	10,523,498	—	10,523,498
セグメント間の内部売上 高又は振替高	169,385	380,085	549,471	△549,471	—
計	7,201,678	3,871,291	11,072,969	△549,471	10,523,498
セグメント利益	423,667	307,904	731,572	△12,644	718,927

(注)1.セグメント利益の調整額△12,644千円には、のれん償却額△12,631千円及びその他調整額△12千円が含まれております。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,603,785	3,746,373	11,350,159	—	11,350,159
セグメント間の内部売上 高又は振替高	170,652	378,287	548,940	△548,940	—
計	7,774,437	4,124,661	11,899,099	△548,940	11,350,159
セグメント利益	458,143	289,222	747,365	△12,651	734,714

(注)1.セグメント利益の調整額△12,651千円には、のれん償却額△12,631千円及びその他調整額△19千円が含まれております。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。